

報道発表資料

(2019年5月8日発表英文リリース抄訳)

2019年5月9日
エクイニクス・ジャパン株式会社

エクイニクス、2019年にIBX データセンター新規12拠点の開設、 23拠点の拡張を計画

デジタル変革を加速するグローバルなインターコネクションプラットフォームを拡充

インターコネクション (相互接続) およびデータセンターサービスをグローバルに展開する エクイニクス (Nasdaq:EQIX、日本法人代表取締役 兼 北アジア統括: 古田 敬、以下 エクイニクス) は、本年2019年にグローバルに IBX® (International Business Exchange™) データセンター (以下 IBX データセンター) 12拠点を新規開設し、また既存 IBX データセンター23拠点を拡張する計画です。これは、2019年第一四半期決算報告で発表された、2019年会計年度における17億3,000万USドル~19億2,000万USドル (約1,905億円~2,115億円) の特別設備投資の一部です。エクイニクスは、グローバル企業がパートナーやお客様とエクイニクスのグローバルプラットフォーム上で相互接続し、クラウド、ネットワーク、およびサービスにより構成されるエコシステムを活用することで、デジタル変革を推進することを戦略的に支援します。2019年の新規設備投資により、エクイニクスは Platform Equinix® を継続的に拡大し、世界50カ所以上のメトロ (都市圏) において、お客様による IT インフラストラクチャーの構築、運用およびサービス利用を可能にします。

2019年の新規開設

2019年に新規開設 (予定含む) の IBX データセンターは以下の通りです。これらのデータセンターは各メトロ内の他の IBX データセンターとの間でサイト間光ファイバー接続により直接接続されます。

● アジア太平洋地域

- **上海** - 2019年2月、エクイニクスは、中国の上海で5拠点目となる SH6 を開設しました。上海浦東の自由貿易試験区に新規開設された SH6 は、上海で最大の IBX データセンターであり、貿易および金融サービスセクターにおけるハブ機能を担うデータセンターとなります。
- **東京** - エクイニクスは、東京で11拠点目となる TY11 を開設します (2019年5月10日プレスリリース)。東京で最大の IBX データセンターとなる TY11 は、クラウド、ネットワーク、および金融サービスセクターからの力強いインターコネクション需要の増加に対応します。
- **メルボルン** - エクイニクスは、オーストラリア第2の経済都市であるメルボルンにおいて、4拠点目となる ME2 を開設します (2019年3月11日プレスリリース (英文))。エクイニクスのメルボルン IBX データセンター群は、強力なネットワークとクラウド接続、および Victoria Internet Exchange へのダイレクトアクセスを提供します。
- **ソウル** - エクイニクスは、韓国のソウルで最初の IBX データセンターとなる SL1 を開設します (2019年1月23日プレスリリース)。韓国は、世界トップ15の経済規模を持つ国の1つです。多くの業界において高帯域のネットワーク接続を利用する高度なアプリケーションが活用され、世界で最も活気のあるデジタル経済圏の1つを形成しています。

- シドニー - エクイニクスは、オーストラリアのシドニーで 8 拠点目となる SY5 を開設します ([2019 年 2 月 28 日プレスリリース](#))。SY5 はオーストラリア最大の IBX となります。
- シンガポール - エクイニクスは、シンガポールで 4 拠点目となる SG4 を開設します ([2019 年 1 月 15 日プレスリリース](#))。SG4 は、シンガポール東部に位置する、国内 5 カ所のデータセンター群の 1 つである Tai Seng Industrial Estate 内に戦略的に配置されます。SG4 は既存の 3 つの IBX とあわせてシンガポールにおいて多様な拠点選択を可能とします。

- 米国と EMEA 地域

- パリーPA8
- ソフィアSO2
- ヘルシンキHE7
- ロンドンLD7
- ワルシャワWA3
- ハンブルクHH1

既存 IBX データセンターの拡張 -- エクイニクスは、上記 12 拠点の IBX データセンターの新規開設に加え、既存 IBX データセンターを拡張する 23 のプロジェクトを、以下世界各地のメロで実施します。

- シカゴ
- ダラス
- アトランタ
- フランクフルト(3 拠点)
- 香港(3 拠点)
- ロンドン(4 拠点)
- アムステルダム
- マドリード
- ニューヨーク
- 大阪
- パリ
- パース
- シアトル
- ストックホルム
- チューリッヒ(2 拠点)

発表の主なポイント

- **エクイニクスの持続可能性** - エクイニクスは、エネルギー効率と環境の持続可能性を追求したデータセンターの設計、構築、運用に注力しており、再生可能エネルギーの 100% 利用達成を長期目標に掲げています。2018 年、エクイニクスは世界展開するプラットフォームの 90% で、クリーンな再生可能エネルギーを使用しました。
- **今日の概況** - 現在、エクイニクスは世界 24 か国、52 メロで IBX データセンター 202 拠点を運用しています。データセンターの総面積は約 2,220 万平方フィート(206 万平方メートル)に上ります。エクイニクスのエコシステム内で企業が接続するインターコネクションは計 34 万 1,000 を数え、顧客数は 9,800 社以上です。お客様には、ネットワークプロバイダー 1,800 社以上、クラウドおよび IT サービスプロバイダー 2,900 社以上、ならびに Fortune 500 企業の約半数、Forbes Global 2000 企業の 35% が含まれます。

コメント

- **451 Research データセンターインフラストラクチャーおよびサービス担当バイスプレジデントケリー・モーガン(Kelly Morgan)氏**
「先進的な分散型ハイブリッド・マルチクラウド環境の構築では接続性が非常に重要となります。ネットワークプロバイダーやクラウドプロバイダーのエコシステムと、幅広いインターコネクションを提供できるデータセンター施設は、企業に対し市場における大きな戦略的優位性を提供します。エクイニクスのデータセンターと拡大を続けるインターコネクションプラットフォームは、企業がクラウド戦略を加速し、デジタル変革を推進できる環境を提供します」
- **エクイニクス 最高経営責任者 チャールズ・マイヤーズ(Charles Meyers)**
「デジタル変革は世界中のあらゆる産業で進行しており、企業はサプライチェーンのすべての要素についてこれまでとは異なるアプローチで取り組んでいます。そこに、クラウドファースト、分散型、ハイブリッドという明確なアーキテクチャ選択肢が登場しています。その実装のためには、アーキテクチャをデジタルエッジに構築することが必要で、エクイニクスが展開を続けているのはまさにこのデジタルエッジなのです。2019年以降も、当社はグローバルリーチを拡大するために投資を継続します」
- **エクイニクス アジア太平洋 プレジデント サミュエル・リー(Samuel Lee)**
「アジア太平洋地域において、企業はテクノロジーを活用したビジネスの成長と効率化の実現に非常に意欲的です。エクイニクスがこの地域における拠点をさらに強化・拡大できることをとても喜ばしく、また誇りに思います。比類のないグローバルリーチをもって、エクイニクスは、お客様のデジタルトランスフォーメーションへの投資にふさわしい価値を提供してまいります」

関連資料

- [Equinix IBX データセンター バーチャルツアー](#) [WEB サイト] (英語)
- [デジタル エッジであなたのビジネスを変革](#) [WEB サイト] (日本語)
- [Gartner レポート - エッジによるクラウドの完成](#) [WEB サイト] (英語)
- [451 Research - エクイニクス、アジア太平洋地域で拡張し続ける](#) [451 Research レポート] (英語)

エクイニクスについて

Equinix, Inc. (Nasdaq:EQIX)は、世界で最も相互接続密度の高いデータセンターにおいて、世界中のトップ企業をそのお客様、従業員、パートナーに接続しています。世界5大陸、50以上の市場をつなぐデジタルビジネスのためのグローバルプラットフォームとして、企業の皆様があらゆる場所で、あらゆる人やモノとつながり、デジタル化された未来を実現していくことを支援しています。 Equinix.co.jp

将来の見通しに関する記述について

本ニュースリリースには、リスクおよび不確実性を伴う将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした将来の見通しに関する記述において言及されている予測と実際にもたらされる結果との間には、大幅な相違が生じる場合があります。そのような相違を生じさせる要因としては、Equinix の製品およびソリューションに関する開発、設置、および提供上の問題、エクイニクスがすでに買収した、もしくは今後買収する企業との統合に関連して発生する想定外の費用または問題、最近建設したもしくは取得したデータセンターにおけるお客様からの収益の大幅な欠如、適宜計画される資金調達未遂、既存の競合先ないし新規競合先との競争、キャッシュフロー余力の十分性あるいは未払負債ないし新規の負債を返済するための資金調達能力、主要なお客様とのビジネスにおける損失あるいは減退、REIT(不動産投資信託)としての税制に関連するリスク、Equinix, Inc.が米国証券取引委員会に適宜提出する資料に記載されているその他のリスクが含まれますが、これらに限定されません。詳細については、Equinix, Inc.が米国証券取引委員会に提出した直近の四半期報告書および年次報告書をご参照ください。

い(ご要望に応じ、Equinix, Inc.より入手可能です)。エクイニクスは、このニュースリリースに含まれる将来の見通しに関する情報を更新するいかなる義務も負いません。

本リリースに関するお問合せ

エクイニクス・ジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーション

清水 桃香

Email: Marketing-Jp@ap.equinix.com